



丹波新聞創刊100周年記念講演会

丹波新聞は大正13年（1924）に創刊しました。今年で100周年を迎えるのを記念し、講演会を企画しました。講師は、田ステ女が姫路市に創建した不徹寺の住職で、「駆け込み寺の庵主さん」として注目されている松山照紀住職です。ご来場をお待ちしております。

田ステ女創建の禅寺を継ぐ 駆け込み寺の庵主さん 松山 照紀さん



姫路市の不徹寺で。松山照紀さんの背後にあるのは、後半生を尼僧として生きた田ステ女の肖像画。

講師／^{まつ やま しょう き}松山 照紀さん
(臨済宗妙心寺派不徹寺住職)

演題／「死に支度できていますか
～より良く生きるために～」

◆講師プロフィール

1962年、福岡県筑紫野市生まれ。霊峰・宝満山の麓でのびのび育つ。大学生だった20歳の時、予期せぬ妊娠。同級生と学生結婚するも、離婚してシングルマザーに。手に職をつけるべく看護師を志す。マザーテレサの慈善施設でのボランティア、みすからの大病を経て、ナースとして終末期を見つめる。医療の限界や迷いを感じていた37歳の時、座禅と出会い、48歳で出家。厳しい尼僧修行を経て、2016年より、姫路の地で創建300余年・代々女性によって受け継がれる不徹寺の庵主となる。不徹寺は、「雪の朝」の句で知られる俳人で、後半生を尼僧として生きた柏原生まれの田ステ女が創建した禅寺。

「すべての女性の駆け込み寺」を目指して日夜、無料の電話相談や疲れた心がホッと和める懐石料理・お香教室を主催するなど、さまざまなイベントに取り組んでいる。

2024
6/23 **SUN**
14:00～
(開場は13:30)
会場 **丹波の森公苑ホール**
(丹波市柏原町柏原5600)

入場
無料
お申込み不要

石見神楽「大蛇上演」

講演会のオープニングとして
篠山神楽社中による石見神楽
「大蛇（おろち）」を上演します。
迫力ある舞いをお楽しみください。



●主催

～丹波と100年、この先も～
株式会社 丹波新聞社

丹波市柏原町柏原201 ☎ 0795-72-0530
E-mail:tanba@tanba.jp https://tanba.jp